



2020年7月 尚徳福祉会 末長こぐま保育園

梅雨の晴れ間の日差しがだんだんと強くなり、いよいよ夏が近づいて来たのを感じられるようになってきました。園庭では、毎日お当番さんが水をあげたり脇芽を摘んだりして世話をしてくれているキュウリが実り始め、インゲンも花を咲かせるほど大きく育ってきました。6月になってクラスの登園児数が増えてきて、友だちとぶつかって泣いたり怒ったり、そして話し合って前より仲良くなると、植物に負けないぐらいに、子ども達の心も育ってきているようです。

残念ながら今年はプールあそびはできませんが、思いっきり水あそびを楽しめるように元気に開放的な夏を楽しんで過ごせるようにしていきたいと思います。



生活の様子

シャワーが始まり、着替えたり衣服を片付けたりする機会が多くなりました。ほとんどのことは自分でできるのですが、おしゃべりに夢中になって時間がかかったり下着や靴下が落ちていたりすることが多いきりん組です。次の活動に気持ち向きと、身の回りのことが雑になりやすいようです。《自分のことは自分でする》ことができるように、丁寧に関わっていくようにしたいと思います。

あそびの様子

クラスの出席人数が増え《みんなで1つのあそびをする》から、《コーナーに分かれて、気の合う友だちと好きなあそびをする》に変わってきました。あそびの選択の幅が広がり、いろいろなことにチャレンジできるようにもなりました。また、同じあそびでも、いろんな子どもが参加するので、新しいあそびに発展していて『今度は〇〇ごっこしようよ』と、新しいあそびも増えつつあります。

